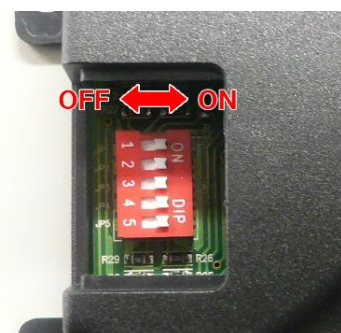


1. DIP スwitchの設定方法

コントローラの DIP スwitchで各種設定を変更できます。設定変更は、必ずコネクタを抜いて行って下さい。

コントローラ A
(汎用品・その他専用品)



コントローラ B
(C-HR・170系シエンタ専用品)



■ DIP スwitch1・DIP スwitch2 (ロック速度)

車種(車速パルス数)によってロック速度は変わります。まず初期設定で配線や動作の検査を行って下さい。その後、変更される場合は、徐々にロック速度を速くして下さい。

DIP スwitch設定	1: ON 2: ON	1: OFF 2: ON	1: ON 2: OFF	1: OFF 2: OFF
ロックするタイミング	早い	やや速い	やや遅い	遅い
車の速度	遅い	やや遅い	やや速い	速い
2パルス車の場合 (ニッサン車等)	約 12km/h	約 24km/h	約 48km/h	約 96km/h
4パルス車の場合 (ほとんどの国産車)	約 6km/h	約 12km/h	約 24km/h	約 48km/h
8パルス車の場合	約 3km/h	約 6km/h	約 12km/h	約 24km/h

■ DIP スwitch3 (シートベルトキャンセル出力時間)

シートベルトキャンセル出力が短くて正常に動作しない場合に OFF にして下さい。

DIP スwitch設定	3: ON	3: OFF
	短	長

■ DIP スwitch4 (茶線入力)

50系プリウス専用品のみ OFF に設定して出荷しています。その他の車種は ON の状態でご使用下さい。

DIP スwitch設定	4: ON	4: OFF
	その他	50系・30系プリウス P インジケータ

■ DIP スwitch5 (未使用)

★本書の著作権は、有限会社コムエンタープライズに帰属しており、記載の一部、または全部を当社の許可なく、転用・複製・改変・掲載・頒布・販売・出版等を行うことはできません。

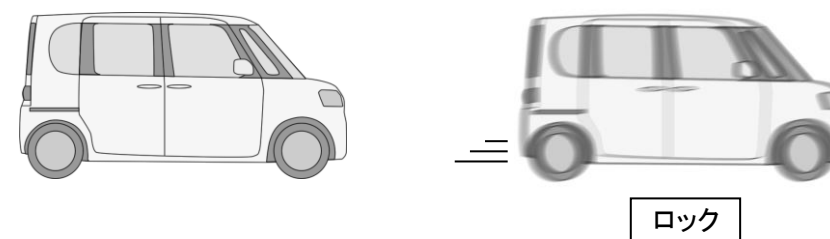
2. 機能説明

【参考】

トヨタ車の一部は、シートベルトをしていると車速ロックしません。こういった車種に取り付ける場合は、シートベルト出力線を接続して下さい。本製品はシートベルトを一時的に非装着状態にするため、ロック・アンロック時にシートベルト警告灯が一瞬点灯し、場合によっては警告音が一瞬鳴る場合がありますが、故障ではありません。また、純正ナビでテレビ表示中に本キットがアンロックした場合、一時的にテレビ表示がキャンセルされる場合があります。

車速ロック機能

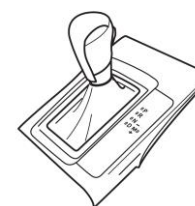
車両が走り出し、設定した車速に到達すると自動的にロックします。



自動アンロック機能

以下のいずれかのタイミングでアンロックします。

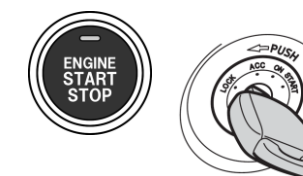
- ・ATレバーをPポジションにする。 (橙線を接続した場合に有効)
- ・パーキングブレーキを ON にする。 (茶線を接続した場合に有効)
- ・エンジンを停止する (ACCをOFFする)。



ATレバーを
Pにする



パーキングブレーキ
ON



エンジン停止
(ACCをOFF)

【注意】

Pシフトポジションやパーキングブレーキ ON 時のアンロックは、橙線や茶線を接続した場合に有効になります。車種によってアンロックするタイミングが異なります。

再車速ロック機能

運転席集中ロックスイッチでアンロックした後、車両が走り出すと再びロックします。 (桃線を接続した場合に有効)

3. 配線検査方法

■ 汎用品の場合

	手順	正常	異常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	アンロックする。 → 2へ。	アンロックしない。	アンロック線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	①黒線、②赤線の結線不良。
2	シートベルトを外して車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → トヨタ車:3へ。 → その他:5へ。	ロックしない。	ロック線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	4へ。
3	シートベルトをして車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → 5へ。	ロックしない。	2ピン桃コネクタの黒線を接続する。
4	⑩灰線を車から外し、ボディアースに断続的に接続する。 (1秒間に3回以上、接続させたり、離したりする。)	ロックする。 → 5へ。	ロックしない。	正常時:⑩灰線の結線不良。 異常時:DIP スイッチの設定を確認。 (必ずロック速度を「遅い」の設定にして行って下さい。)
5	・シフトをPの位置にする。 ・パーキングブレーキをかける。 (それぞれ接続している場合)	アンロックする。	アンロックしない。	⑧橙線(Pポジション入力) ⑨茶線(パーキングブレーキ入力)の結線不良。
6	エンジンを止める。	アンロックする。	アンロックしない。	⑪黄線の結線不良。

■ 専用品の場合

	手順	正常	異常	原因・備考
1	コネクタを挿す。	アンロックする。 → 2へ。	アンロックしない。	アンロック線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	①黒線、②赤線の結線不良。
2	シートベルトを外して車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → トヨタ車:3へ。 → その他:5へ。	ロックしない。	ロック線の結線不良。
			リレーの「カチッ」という音もしない。	4へ。
3	シートベルトをして車を走らせる。	速度が上がるとロックする。 → 5へ。	ロックしない。	⑦白線の結線不良。
4	⑩灰線を車から外し、ボディアースに断続的に接続する。 (1秒間に3回以上、接続させたり、離したりする。)	ロックする。 → 5へ。	ロックしない。	正常時:⑩灰線の結線不良。 異常時:DIP スイッチの設定を確認。 (必ずロック速度を「遅い」の設定にして行って下さい。)
5	・シフトをPの位置にする。 ・パーキングブレーキをかける。 (それぞれ接続している場合)	アンロックする。	アンロックしない。	⑧橙線(Pポジション入力) ⑨茶線(パーキングブレーキ入力)の結線不良。
6	エンジンを止める。	アンロックする。	アンロックしない。	⑪黄線の結線不良。

1. はじめに

この度は、当社製品をご購入いただき、有難うございました。取り付け前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。

2. 製品構成



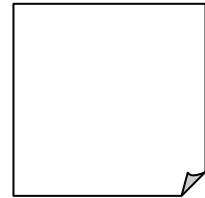
コントローラ(水色2)
1セット



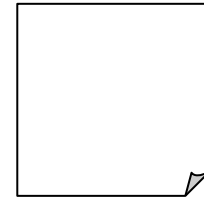
12ピンハーネス
1セット



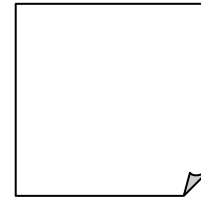
シートベルトキャンセル用ハーネス
1セット



取付説明書
1セット



取付説明書(補足)
1セット



保証書
1セット

3. 配線方法

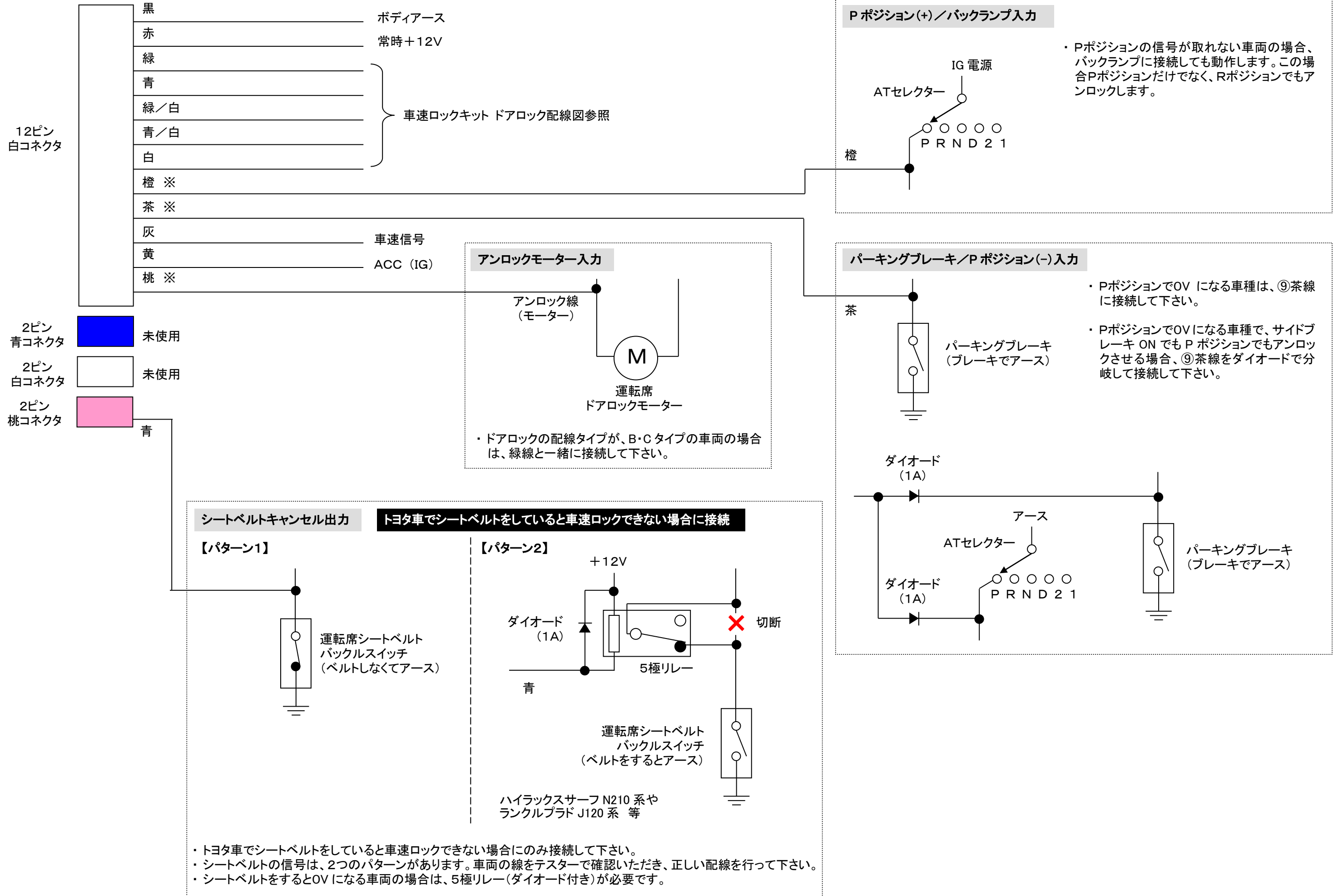
【注意】

- ・コントローラは配線が完了するまで接続しないで下さい。配線途中で接続すると故障する恐れがあります。
- ・必ず配線完了後に裏面の配線検査を行ってから、コントローラを接続して下さい。
- ・車種専用用品を購入された方は、カラーの取説を参照して配線を行って下さい。

線色	極性	説明と主な接続先
① 黒	-	ボディアースへ接続。
② 赤	+	常時電源へ接続。
③ 緑	COM	車速ロックドアロック配線図を参照して配線して下さい。
④ 青	NC	
⑤ 緑/白	COM	
⑥ 青/白	NC	
⑦ 白	NO	
⑧ 橙 ※	+	ATのPポジションランプへ接続。(Pポジションでプラス) ※ シフトをPポジションにした際にアンロックさせる場合に接続。
⑨ 茶 ※	-	パーキングブレーキ線へ接続。(ブレーキでアース) ※ パーキングブレーキをかけた際にアンロックさせる場合に接続。
⑩ 灰		車速信号へ接続。
⑪ 黄	+	ACCまたはIGへ接続。
⑫ 桃 ※	+	車両の運転席モーターのアンロック線へ接続。(プラスコントロール) ※ 運転席集中ロックスイッチでアンロック後、再度車速ロックさせる場合に接続。

基本結線図

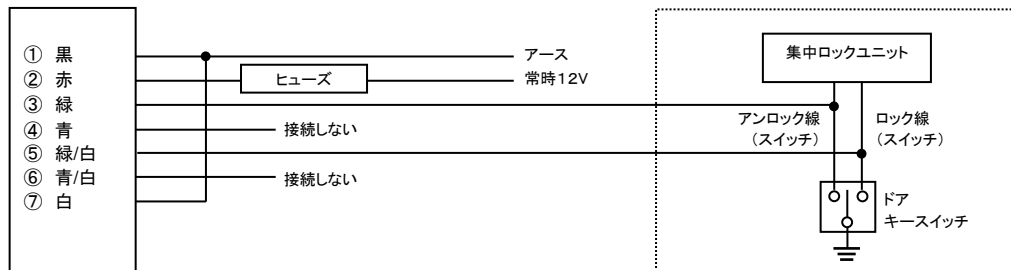
※は接続しなくても動作します。



ドアロック基本結線図 (必ず当社のホームページで配線タイプを確認して配線して下さい。)

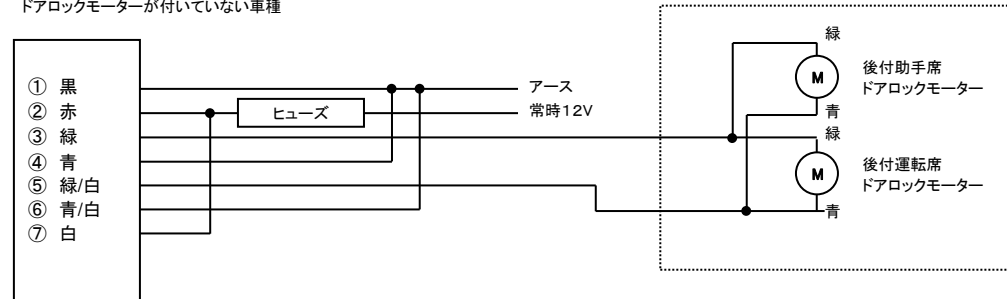
Aタイプ (例:ほとんどのトヨタ車)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、マイナスコントロール(信号線をアースに接続するとロック・アンロック)の車種



Bタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いていない車)

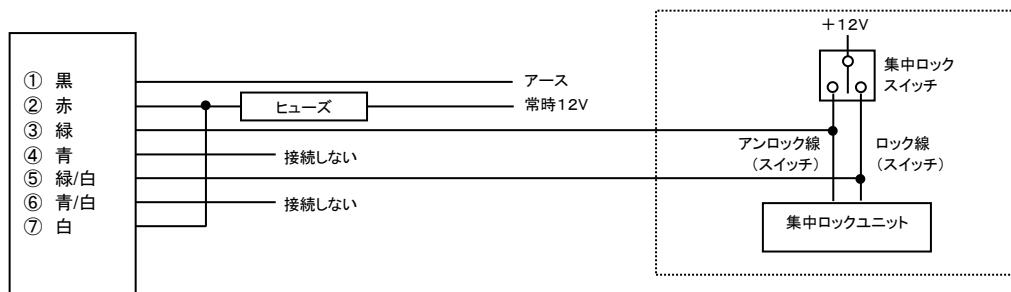
ドアロックモーターが付いていない車種



・ドアロックモーターの取り付け方向によっては、緑と青の配線が逆になる場合があります。
 ・2個以上使用する場合は、図のように並列に接続して下さい。

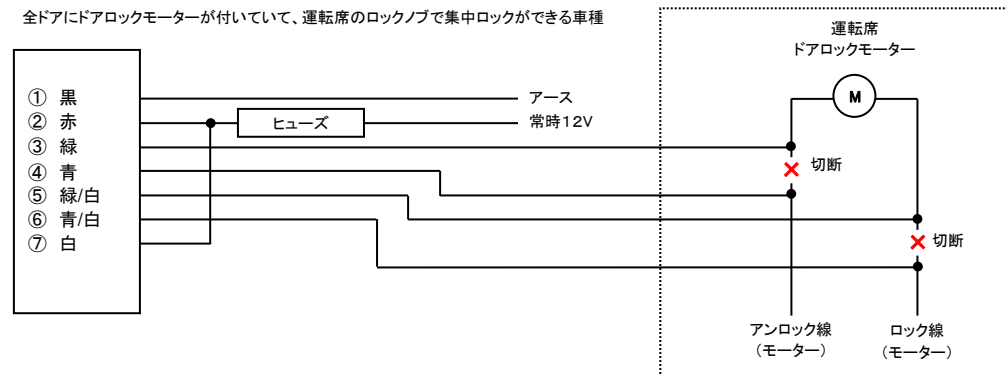
Dタイプ (例:BMW E32・E34・E36・E38・E39 等、GOLF3 やアメ車の一部等)

すべてのドアにドアロックモーターが付いていて、プラスコントロール(信号線を+12Vに接続するとロック・アンロック)の車種



Cタイプ (例:トヨタ車以外の日本車で純正キーレスが付いている車)

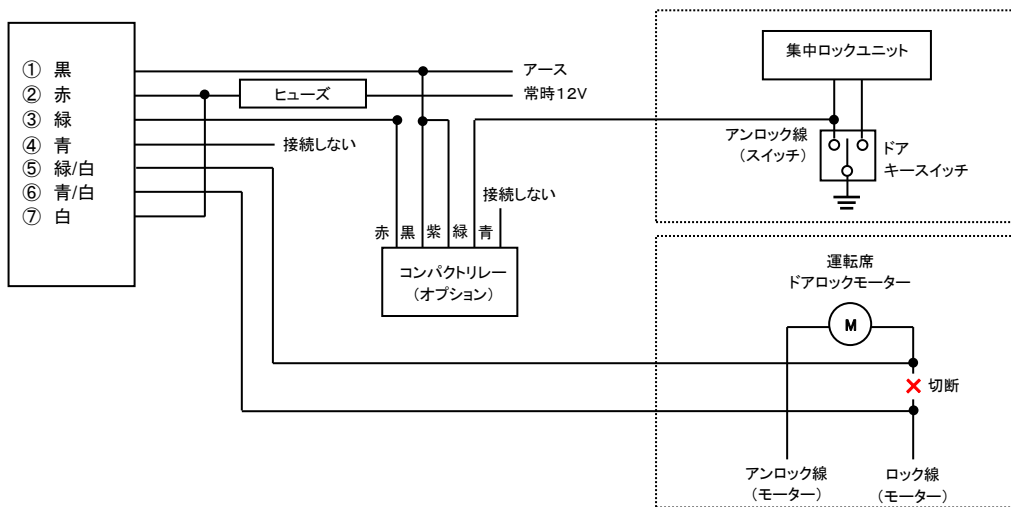
全ドアにドアロックモーターが付いていて、運転席のロックノブで集中ロックができる車種



・青、緑、青/白、緑/白は向きに注意して接続して下さい。モーター側が緑、緑/白です。
 ・青(青/白)の線と緑(緑/白)の線を逆に接続すると、ショートしてヒューズが飛びます。
 ・社外キーレスと同時に取り付けの場合は、ロック線・アンロック線共に直列になるように配線して下さい。

ロック:Cタイプ アンロック:Aタイプ (RB1・2系オデッセイ、RG1~4系ステップワゴン等)

ロックがCタイプ、アンロックがAタイプの車種(オプションのコンパクトリレーが必要)



【当社キーレスと併設する場合】

- ① 図のようにアンロック線をカット後、モーター側のアンロック線に本体の緑線を接続。
- ② 本体の青線をキーレスの緑線へ接続。
- ③ キーレスの青線を車両側のアンロック線に接続。
- ④ ロック線も同様にカット後、モーター側のロック線に本体の緑/白線を接続。
- ⑤ 本体の青/白線をキーレスの緑/白線へ接続。
- ⑥ キーレスの青/白線を車両側のロック線に接続。

【常時電源について】

赤線の電源は、必ず15A以上の容量の大きな線に接続して下さい。
 (オーディオ裏は、容量が小さいのでうまく動作しない可能性があります。)

ドアロック配線検査手順

- ・検査は必ず本体からカプラーを抜いて行って下さい。
- ・必ず最後まで、飛ばさずに確認して下さい。
- ・手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意して下さい。
- ・検査ピンが熱くなる場合がありますので、検査時は必ず軍手等を使用して下さい。



危険

Aタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む	ロック	緑／白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

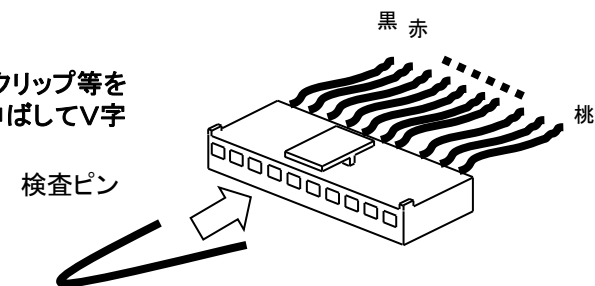
Dタイプ（検査ピン1本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑／白と白の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

ロック:Cタイプ アンロック:Aタイプ（検査ピン2本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	緑／白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約1秒差し込む。	アンロック	緑線またはコンパクトリレーの結線不良
3	緑／白と白の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	白線の結線不良

検査ピンは、書類を留める金属のクリップ等を1本または2本ご用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作して下さい。



B・Cタイプ（検査ピン2本使用）

順序	検査方法	車両の動作	異常時の原因
1	緑と黒の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑／白と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	緑、黒、緑／白または赤線の結線不良
2	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑と赤の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	青／白または緑線の結線不良
3	緑と青の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑／白と白の穴に別の検査ピンを約0.5秒差し込む。	ロック	青または白線の結線不良
4	緑／白と青／白の穴に検査ピンを1本差し込んだ状態で、緑と白の穴に検査ピンを約0.5秒差し込む。	アンロック	白線の結線不良

- ・2本の検査ピンは、絶対にショートさせないで下さい。
- ・ヒューズが飛ぶ場合は、青(青/白)線と緑(緑/白)線が逆に接続されている可能性があります。